

新潟・西川内北遺跡
にしかわうちきた

- 1 所在地 新潟県胎内市(旧北蒲原郡中条町) 大字西川内
- 2 調査期間 二〇〇四年(平16) 八月
- 3 発掘機関 中条町教育委員会
- 4 調査担当者 吉村光彦
- 5 遺跡の種類 集落跡
- 6 遺跡の年代 八世紀
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



西川内北遺跡は、沖積地に位置する集落遺跡である。今回の調査は、県営圃場整備事業に伴う道路予定地の事前調査である。調査の結果、遺構はほとんど検出されず、長期に人が居住していた痕跡は確認できなかった。また、遺物の出土量も非常に少なかった。木簡は、包含層から一点出土した。遺構に伴うものではなく、共伴遺物も少ないため、時期の特定は困難

であるが、出土状況は比較的最近のものと思われる様相を呈していた。

8 木簡の釈文・内容

(1) 「和衛門□□

(133)×29×5 011

上下両端は切断されており、上端は原形をとどめている可能性がある。下端に向かって左右両側から細く削り出されており、〇五一型式を原形とする可能性がある。内容からみても古代の木簡ではあり得ず、近世の荷札木簡の類とみるのが穏当であろう。

なお、釈読にあたっては、奈良文化財研究所史料調査室の方々のご教示を得た。



(水澤幸一)